

平成 24 年度 町なかがん患者サロン運営事業（案）

1. 事業の目的、必要性

がん患者やその家族等の不安の軽減を図る目的で、誰でも利用できる「相談支援センター」が各がん診療連携拠点病院に設置されているが、その相談者のほとんどは当該病院を利用している患者となっており、それ以外の患者は利用しにくい状況にあるうえ、医療に対する不満を医療者に相談することに抵抗感を感じる患者も多い。そこで、相談支援センターとは別に、身近な場所で立ち寄りやすい、利便性の高い中心市街地へのがん患者サロンの設置が求められている。

2. 事業の概要

がん診療連携拠点病院の相談支援センターに加え、がん患者やその家族が身近な場所で、療養生活で生じる様々な不安を気軽に相談でき、がん患者やその家族の視点に立った、心理、医療、生活、介護など各分野に関する情報を提供できる患者サロンを中心市街地に開設するがん患者団体に助成を行う。

町なかがん患者サロン運営事業

(1) 相談体制

がん患者やその家族等の相互の交流や情報交換のための会を開き、患者同士が交流するためのコーディネートや、不安を抱えている患者の個別相談に応じるとともに、医療者（看護師）による相談も定期的実施する。

(2) 情報提供事業

医療機関の検索や治療方法、また今後の療養生活についてなど、がん患者等が知りたい情報を提供するためインターネットや図書等を整備し、必要に応じてがん診療連携拠点病院の協力を得て、情報提供を行う。

<町なかがん患者サロンの概要>

- ・ 開館時間 月曜日～金曜日、週末（隔週） 午前10時～午後4時
 - ・ がん治療経験を持ち研修を修了したピアサポーターが常駐、無料開放
 - 個別相談 ピアサポーター（2名） 週3回
看護師（1名） 週1回
 - 交流会 ピアサポーターが中心となり、患者・家族同士の相互の交流や情報交換のための会を定期的開催
 - 施設概要 図書閲覧や懇談のためのフリースペース
個別相談ブース
がん関連図書、情報検索のためのパソコンを設置
- ※設置場所は未定（松山市中心部を予定）